



Respect for the Aged Day : 授業アイデア（簡単版）

敬老の日をテーマにした英語の授業アイデア 5本

Class _____ No. _____ Name _____

1. 英語で「ありがとうカード」を書こう

中学・25分

🌀 祖父母や身近なお年寄りへの感謝を、英語の短いカードで伝える。

1. Thank you for ____ing. / Please stay healthy. などの表現を確認する。
2. 相手を1人決め、思い出を1つ選んで3～4文のメッセージを書く。
3. ペアで読み合い、よい表現に線を引いてあげる。
4. カードに絵を添えて完成させ、敬老の日に渡す（郵送する）よう勧める。

2. 1947年の村長にインタビュー（ロールプレイ）

高校・30分

🌀 本文の内容を使って、過去形の質問と答えて敬老の日の始まりを再現する。

1. 記者役と村長役に分かれ、When / Why / Who / How の質問を英語で準備する。
2. 村長役は本文の情報（日付・55歳・三輪トラック・9月の理由）を使って答える。
3. 役を交代し、最後に記者役が30秒のニュース原稿にまとめて読み上げる。

3. グラフで読む高齢社会

高校・40分

🌀 100歳以上人口の変化（1963年153人→2026年10万7,677人）を英語で説明する。

1. 100歳以上の人数の推移（1963年・1981年・1998年・2012年・2026年）を折れ線グラフにする。
2. increase / double / pass ____ for the first time などのグラフ表現を学ぶ。
3. ペアでグラフを3文の英語で説明し、その理由を予想して話し合う。

4. 世界の敬老の日くらべっこ

大学・45分

🌀 各国の高齢者・祖父母の日を比べ、贈り物や祝い方に表れる文化の違いを考える。

1. 国別くらべの表から担当国を決め、日付・始まり・贈り物を英語でまとめる。
2. 日本の銀杯と韓国のお酒のように、象徴的な贈り物を比べる。
3. "How should a society show respect for older people?" について150語の意見文を書く。

5. おじいちゃん・おばあちゃんの子どもの時代を聞いてみよう

小学校・20分

🌀 身近なお年寄りの話を聞き、簡単な英語で紹介する。

1. 宿題として、祖父母や近所のお年寄りに「子どものころの遊び」を1つ聞いてくる。
2. My grandma played _____. の形でカードに書く。
3. クラスで発表し、今の遊びとくらべる。



1. 英語で「ありがとうカード」を書こう

授業手順書（詳細版）／対象：中学／25分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

Thank you for ____ing. / Please stay healthy. などの表現を使い、祖父母や身近なお年寄りへの感謝を3～4文の英語のカードで伝えられる。

準備

- はがきサイズの厚紙（1人1枚）と色えんぴつ
- 先生の見本カード（自分の祖父母やお世話になったお年寄りあて）
- 表現カード（Thank you for teaching me _____. / Thank you for cooking _____. / Please stay healthy. / I want to ____ with you next time.）
- 基本セット p.3 の穴埋め（A Card for Grandpa）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	先生の見本カードを読み上げ、絵を見せる。基本セット p.3 の穴埋めの話（Ren が漁の好きな祖父にカードを書く）を音読し、Thank you for teaching me how to fish. の文に線を引かせる。「今日は自分のカードを書く」と伝える。	見本カードを聞き、穴埋めの話を讀んで、感謝を表す文を見つける。	"This is my card for my grandmother. Let me read it." "Dear Grandma, thank you for teaching me how to cook rice." "Read Ren's story. Find the thank-you sentence." "Today, you will write your own card."
展開1	6	表現カードを黒板に貼り、Thank you for のあとは ____ing（動詞のing形）か名詞が来ることを示す（Thank you for teaching me. / Thank you for the delicious cake.）。相手を1人決めさせ、その人との思い出を1つメモさせる（一緒にしたこと・教わったこと・作ってもらったもの）。	表現の形を確かめ、カードを送る相手と思い出を1つ決めてメモする。	"After thank you for, we use an ing word. Thank you for teaching me." "We can also use a thing. Thank you for the delicious cake." "Choose one person. A grandparent, or an older person you know." "Write down one memory with that person."
展開2	8	Dear ____, で始め、感謝の文・思い出の文・お願いや約束の文を入れて3～4文のメッセージを書かせる。型を板書する（Dear ____, / Thank you for ____ing. / I like ____ with you. / Please stay healthy. / Love, ____）。机間指導で ing の形やつづりを確認する。	型にそって3～4文のメッセージを書く。わからない語は先生や辞書で調べる。	"Start with Dear Grandpa or Dear Mrs. Tanaka." "Write three or four sentences." "End with Please stay healthy. Then write your name." "Raise your hand if you need a word."
展開3	5	ペアでカードを読み合い、相手のカードのよい表現に線を引いてあげる。聞いた人は I like this sentence. と一言伝える。気づいたつづりのまちがいは鉛筆で小さく印をつける程度にする。	ペアでカードを読み合い、よい表現に線を引いて伝え合う。	"Read your card to your partner." "Draw a line under a sentence you like." "Tell your partner, I like this sentence." "Now change roles."
まとめ	2	絵を添えて家で仕上げるよう伝える。敬老の日（9月の第3日曜日）に手渡すか、遠くに住んでいる人には郵送するよう勧める。	カードの仕上げ方と渡し方を確かめる。	"Draw a picture at home and finish your card." "Give it on Respect for the Aged Day, or send it by mail." "Your card will make someone very happy."

板書例

Respect for the Aged Day（9月の第3日曜日）

Dear ____,
 Thank you for ____ing. (teaching me / cooking / playing with me)
 Thank you for the _____. (cake / sweater)
 I like ____ with you.
 Please stay healthy.
 I want to ____ with you next time.
 Love, ____

ペアで：I like this sentence.

評価のポイント

- Thank you for のあとを ing の形か名詞で正しく書けたか（カードで確認）。
- 相手との具体的な思い出が1文以上入っているか。
- ペアの読み合いで、相手のよい表現を見つけて伝えられたか。

つまづきへの手だて

- 祖父母がいない、または話題にしにくい生徒には、近所の人・習い事の先生・地域のお年寄りなど、相手を広くとってよいと伝える。
- ing の形がわからない生徒には、表現カードから動詞を選ばせ、teaching / cooking / playing などを写させる。
- 書く量が少ない生徒は、Thank you for _____. と Please stay healthy. の2文から始めてよいとする。

発展

- 基本セット p.7 の作文（Dear ____, thank you for ____, I want to ____ with you next time.）に清書する。
- When I am 100 years old, I want to ____ の文を書き、カードの裏に添える。
- 英語ページの会話（Mark と Aoi）を読み、アメリカの祖父母の日との違いを話し合う。

使う教材

- 基本セット p.3（穴埋め：A Card for Grandpa）
- 基本セット p.7（作文）
- このサイトの英語ページ本文（第4段落）と音声



2. 1947年の村長にインタビュー（ロールプレイ）

授業手順書（詳細版）／対象：高校／30分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

本文の内容をもとに、When / Why / Who / How の過去形の質問と答えで、1947年の敬老の日の始まりを再現し、30秒のニュース原稿にまとめて読み上げられる。

準備

- このサイトの英語ページ本文（第1～3段落）のプリントと音声
- 記者役と村長役のカード（アクティビティ集 B3 ロールプレイのカード）
- 質問メモ用のワークシート（When / Why / Who / How の欄）
- 多可町の「敬老の日提唱の地」の石碑の写真（あれば）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	「敬老の日は国が始めた？」と聞き、予想を聞く。英語ページ本文の第1～3段落を音声で聞かせ、1947年に兵庫県の山あいの村（野間谷村）で村長の門脇政夫さんが開いた敬老会が始まりだったことを確認する。	本文を聞き、だれがいつどこで始めたかを確かめる。	“Who started Respect for the Aged Day? The government?” “Listen to paragraphs 1 to 3.” “It started in a small village in Hyogo in 1947.” “The village head, Kadowaki Masao, had the idea.”
展開1	8	ペアで記者役と村長役に分かれる。記者役は When / Why / Who / How を使った過去形の質問を4つ以上作る（When did you hold the first party? / Who did you invite?）。村長役は本文から答えの材料（9月15日、55歳以上、三輪トラック、戦争のあとで親たちが疲れていた、農作業がひと段落・気候がよい）を探してメモする。	記者役は過去形の質問を作り、村長役は本文から答えの材料を探してメモする。	“A is a news reporter. B is the village head in 1947.” “Reporters, make four questions in the past tense. When did you hold the party?” “Village heads, find the answers in the text.” “Why September? Find the reason in paragraph 2.”
展開2	10	インタビューを行う（3分）。記者役はメモを取りながら聞く。村長役は I wanted to thank them for their long, hard work. のように、本文の表現を一人称に直して答える。役を交代してもう一度行う。早く終わったペアは追加の質問（How did the guests get to the hall?）に挑戦させる。	インタビューを行い、記者役は答えをメモする。役を交代してもう一度行う。	“Reporters, start the interview. Take notes.” “Village heads, answer as Kadowaki. Use I and we.” “Try this question too. How did the guests get to the hall?” “Now switch roles.”
まとめ	8	記者役のメモをもとに、30秒のニュース原稿を書かせる（This is ____ News. On September 15, 1947, ...）。数人に読み上げさせる。最後に、この村の行事が広がって1966年に国民の祝日になり、2003年から9月の第3月曜日になったことを確認する。	インタビューのメモから30秒のニュース原稿を書き、読み上げる。	“Write a 30-second news report from your notes.” “Start like this: This is Hyogo News. On September 15, 1947, ...” “Who wants to read their report?” “The idea spread, and it became a national holiday in 1966.”

板書例

Interview with the village head (1947)

When did you hold the first party? → On September 15, 1947.
 Who did you invite? → Everyone aged 55 and over.
 How did they get to the hall? → By three-wheeled trucks.
 Why did you start it? → I wanted to thank them for their long, hard work.
 Why September? → Farm work was not busy, and the weather was nice.

News: This is ____ News. On September 15, 1947, ...
 → 1966 national holiday → 2003～ the third Monday of September

評価のポイント

- When / Why / Who / How の過去形の質問を正しい語順（did + 主語 + 動詞の原形）で作れたか。
- 村長役として、本文の情報を一人称に直して答えられたか。
- ニュース原稿に、日付・対象（55歳以上）・理由が入っているか。

つまづきへの手立て

- 質問が作れない生徒には、When did you ____? / Who did you ____? の型を渡し、動詞だけ考えさせる。
- 本文から答えを探せない村長役には、段落番号を伝える（日付と55歳は第1段落、理由と9月は第2段落）。
- ニュース原稿が書けない生徒は、インタビューの答えを3つ並べるだけでよいとする。

発展

- インタビューの最後に記者が What do you think about the holiday today? と聞き、村長役が今の日本（100歳以上が10万人をこえた）を見て感想を言う設定で続ける。
- 英語ページの discussion（Should the holiday go back to September 15?）で、発祥の村の立場から意見を言う。
- 発展セットの英文（When Is Someone “Old”?）を読み、55歳という年齢の意味の変化を考える。

使う教材

- このサイトの英語ページ本文（第1～3段落）と音声
- アクティビティ集 B3（ロールプレイ）
- 発展セット（英文）



3. グラフで読む高齢社会

授業手順書（詳細版）／対象：高校／40分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

100歳以上の人口の変化（1963年153人→2026年10万7,677人）を折れ線グラフにし、increase / pass ____ for the first time などの表現で英語3文の説明ができる。

準備

- 数字の表（1963年 153人／1981年 1,000人をこえる／1998年 1万人をこえる／2012年 5万人をこえる／2026年 10万7,677人）
- 方眼紙またはグラフ用ワークシート（ペアに1枚）
- グラフ表現のカード（increase / rise sharply / pass ____ for the first time / about 700 times / more than）
- 発展セットの英文第2段落（65歳以上が29.6%）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	「1963年、日本に100歳以上の人は何人いた？」とクイズを出す（A：153人、B：1,500人、C：1万5,000人）。答えは153人。続けて「2026年は？」と聞き、10万7,677人で初めて10万人をこえたことを伝え、約700倍になったことに注目させる。	クイズに答え、1963年と2026年の数字の差におどろく。	"In 1963, how many people in Japan were 100 or older?" "A, 153. B, 1,500. C, 15,000." "The answer is A. Only 153 people." "In 2026, the number was 107,677. That's about 700 times more!"
展開1	12	表を配り、ペアで折れ線グラフをかかせる。1981年・1998年・2012年は「こえた」年なので、その年は1,000人・1万人・5万人の位置に点を打つと伝える。縦軸の目盛り（0～11万人）と横軸（1960～2030年）の取り方を板書で示す。	ペアで表の数字を読み、折れ線グラフをかく。	"Make a line graph with your partner." "In 1981, the number passed 1,000. Put a dot at 1,000." "The vertical line shows the number of people. The horizontal line shows the year." "What does the line look like?"
展開2	8	グラフ表現のカードを使い、例文を板書する（The number increased from 153 in 1963 to 107,677 in 2026. / In 2026, it passed 100,000 for the first time. / It rose sharply after 1998.）。全員で音読し、ペアで1文ずつ言い合って練習させる。	グラフ表現を音読し、自分たちのグラフを指しながら1文ずつ言う練習をする。	"The number increased from 153 in 1963 to 107,677 in 2026." "In 2026, it passed 100,000 for the first time." "Look at the line after 1998. It rose sharply." "Point at your graph and say one sentence each."
展開3	10	ペアでグラフを英語3文で説明する文を書かせ、続けて「なぜこんなに増えたのか」を予想して話し合わせる（医療・食事・生活の変化など。I think it is because ____）。そのあと、発展セット第2段落の数字（2026年、65歳以上が29.6%で世界でいちばん高い、900万人以上が働いている）を紹介する。	グラフを3文で説明し、増えた理由を英語で予想して話し合う。65歳以上の割合の数字を知る。	"Write three sentences about your graph." "Why did the number grow so fast? Talk with your partner." "I think it is because medical care got better." "In 2026, 29.6 percent of people in Japan were 65 or older. That's the highest in the world."
まとめ	5	2～3組にグラフを見せながら3文を発表させる。最後に「1947年の最初の敬老会は55歳以上が対象だった」ことを伝え、「今、お年寄りは何歳から？」と問いかけて次時につなぐ。	グラフを見せて発表する。お年寄りは何歳からかを考える。	"Show your graph and read your three sentences." "In 1947, the first party was for people aged 55 and over." "Today, when does a person become old? Think about it for next class."

板書例

People aged 100 or older in Japan

1963 153
1981 1,000 をこえる
1998 10,000 をこえる
2012 50,000 をこえる
2026 107,677（初めて10万人をこえる・約700倍）

The number increased from 153 to 107,677.
In 2026, it passed 100,000 for the first time.
It rose sharply after 1998.
I think it is because ____.

65歳以上：29.6%（2026）→ about 3 in 10 people

評価のポイント

- グラフの点が、表の数字と年に合った位置に打てているか。
- increase from ____ to ____ / pass ____ for the first time を正しく使って3文書けたか。
- 増えた理由を because を使って英語で言えたか。

つまづきへの手だて

- 大きな数字の読み方が不安な生徒には、one hundred seven thousand, six hundred seventy-seven のように、千の位で区切って読む練習をさせる。
- 目盛りの取り方で迷うペアには、1目盛り＝1万人の方眼紙を渡す。
- 文を書けない生徒には、例文の数字や年だけを入れ替えさせる。

発展

- 2026年に100歳以上の人の9割近くが女性（9万4,298人）だったことを紹介し、その理由を英語で予想する。
- 発展セットの quiz に取り組み、65歳以上の割合と働く人の数を確かめる。
- 英語ページの discussion（At what age do you think a person becomes "old"?）で意見を書く。

使う教材

- このサイトの英語ページ本文（第5段落）と音声
- 発展セット（英文第2段落・quiz）



4. 世界の敬老の日 くらべっこ

授業手順書（詳細版）／対象：大学／45分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

各国の高齢者・祖父母の日の日付・始まり・贈り物を英語でまとめて比べ、"How should a society show respect for older people?" について150語の意見文を書ける。

準備

- 記事の国別くらべの表（国連10月1日・韓国10月2日・台湾の重陽節・中国の老年節・アメリカの祖父母の日・イタリア・ポーランド・イギリス）
- アクティビティ集 B5 国くらべの表
- 100歳の祝いの銀杯（2016年度から銀メッキ）と韓国のつえ（青藜杖）の写真
- 発展セットの英文第3段落（銀杯と祝い金の話）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	日本で100歳になる人に総理大臣から贈られる銀杯の写真と、韓国で100歳の人に贈られるつえの写真を並べて見せ、「どちらがどこの国の贈り物？」と聞く。国ごとに祝い方が違うことを示し、担当の国を学生に割りふる。	2つの贈り物の写真を見て、どの国のものか予想する。担当の国を確認する。	"Look at these two gifts for people who turn 100." "One is from Japan. One is from South Korea. Which is which?" "The silver cup is from Japan. The walking stick is from Korea." "Each of you will research one country's day for older people."
展開1	12	国別くらべの表をもとに、担当国の日付・始まり・贈り物（または祝い方）を英語でまとめさせる。表にない情報は信頼できる資料で確かめ、出典を1つ書かせる。たとえばアメリカの祖父母の日は1978年にカーター大統領が宣言し、公式の花はわすれな草、など具体的な細部を入れさせる。	担当国の日付・始まり・贈り物を英語でまとめ、出典を書く。	"Write the date, the beginning, and the gift or custom." "For example, the U.S. has Grandparents Day. President Carter declared it in 1978." "Its flower is the forget-me-not." "Check one reliable source and write it down."
展開2	10	4～5人のグループで発表し合い、B5 国くらべの表に記入する。続けて「象徴的な贈り物」に注目させ、日本の銀杯と韓国のつえが何を表すか（長寿のお祝い・実際の生活の支え）を比べて話し合わせる。発展セット第3段落の、銀杯が純銀から銀メッキに変わった話も紹介する。	担当国を説明し合い、表に記入する。贈り物が表す意味を比べて話し合う。	"Share your country in your group. Fill in the table." "Compare the silver cup and the walking stick. What does each gift say?" "Since 2016, Japan's cup has been silver-plated, not pure silver. Why?" "Is a gift the best way to show respect?"
まとめ	18	"How should a society show respect for older people?" について150語の意見文を書かせる（15分）。主張・理由2つ・例（国くらべや発展セットの数字）・結論の順で書くよう指示する。最後の3分で2人に読ませ、「贈り物派」と「仕組み（医療・仕事）派」の論点を板書で整理する。	国くらべと発展セットの内容を根拠に、150語の意見文を書く。数人の意見を聞く。	"Write about 150 words. How should a society show respect for older people?" "Give your opinion, two reasons, and examples from other countries." "You may use numbers from the advanced passage." "Let's hear two opinions. Gifts, or health care and jobs?"

板書例

Days for older people around the world

UN Oct 1 International Day of Older Persons (1991～)
 Korea Oct 2 老人の日 → walking stick at 100
 Taiwan 重陽節 Senior Citizens' Day (1966～)
 U.S. Sunday after Labor Day Grandparents Day (1978, Carter) forget-me-not
 Poland Jan 21 Grandma's Day / Jan 22 Grandpa's Day
 Japan 3rd Monday of Sept → silver cup at 100 (2016～ silver-plated)

Essay (150 words) : How should a society show respect for older people?
 贈り物？ / 医療・仕事？

✓ 評価のポイント

- 担当国について、日付・始まり・贈り物を正確な英語でまとめ、出典を示せたか。
- 贈り物が表す意味の違いを、具体例を挙げて説明できたか。
- 意見文で、主張と理由が論理的につながり、国くらべや統計を根拠に使えているか。

✪ つまづきへの手だて

- 英語でまとめにくい学生には、国別くらべの英文（In Korea, people who turn 100 get a special walking stick. など）を出発点にしてよいと伝える。
- 意見文の構成に迷う学生には、型（In my opinion, _____. First, _____. For example, _____. Second, _____. Therefore, _____.）を渡す。
- 150語に届かない学生には、反対意見を1つ挙げて反論する文を加えるよう助言する。

✪ 発展

- 台湾の老人節が日本の敬老の日と同じ1966年に始まったことを手がかりに、東アジアの重陽節と高齢者の日の関係を調べる。
- 発展セットの debate（100歳の贈り物をやめて医療にお金を回すべきか）でミニ・ディベートをする。
- 自分の住む自治体の敬老行事の対象年齢を調べ、1947年の55歳と比べる。

📖 使う教材

- 記事の国別くらべの表
- アクティビティ集 B5（国くらべ）
- 発展セット（英文・debate）



5. おじいちゃん・おばあちゃんの子どもの時代を聞いてこよう

授業手順書（詳細版）／対象：小学校／20分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

身近なお年寄りに聞いてきた「子どものころの遊び」を、My grandma played _____. の形でカードに書き、クラスで紹介できる。

準備

- 事前の宿題プリント（「子どものころ、どんな遊びをしましたか」を1つ聞いてくる。祖父母以外の近所の人や家族でもよい）
- カード用の紙（1人1枚）
- 遊びの絵カード（tag / hide-and-seek / spinning tops / kendama / jump rope / marbles / cat's cradle / beanbags）
- 今の遊びの絵カード（video games / soccer / dodgeball など）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	先生が自分の祖父母（または知り合いのお年寄り）から聞いた遊びを英語で紹介する（My grandma played with spinning tops.）。遊びの絵カードを見せながら英語の言い方を発音させる。	先生の話を聞き、絵カードを見て遊びの英語をまねて言う。	"My grandpa played with spinning tops when he was a child." "Look at these cards. Tag. Hide-and-seek. Kendama." "Say them with me." "What did your grandma or grandpa play?"
展開1	7	宿題で聞いてきた遊びを、My grandma played _____. / My grandpa played _____. の形でカードに書かせる。遊びの英語がわからない子には、絵カードから選ばせるか、先生が小さく書いてなぞらせる。書けたら遊びの絵を描かせる。	聞いてきた遊びを英語でカードに書き、絵を描く。	"Write your sentence. My grandma played ____." "Do you need help? Look at the cards." "Kendama is kendama in English, too!" "Now draw a picture of the game."
展開2	8	1人ずつ（人数が多ければ班ごとに）カードを見せながら発表させる。聞いている子は Me, too! / I want to try it! と反応する。発表された遊びを黒板に書き、同じ遊びが何回出てきたか数える。	カードを見せて発表する。友だちの発表に Me, too! / I want to try it! と反応する。	"Show your card and read your sentence." "Did you play it too? Say, Me, too!" "Do you want to play it? Say, I want to try it!" "Kendama is popular. Five people!"
まとめ	2	今の遊びの絵カードを並べ、「昔からずっと残っている遊びはどれ？」と聞いて比べる。教えてくれた人にお礼を伝えるよう促して終わる。	昔の遊びと今の遊びを比べ、変わらない遊びを見つける。	"Look. Old games and new games." "Which games do we still play today?" "Please say thank you to the person who told you!"

板書例

When my grandma was a child...

My grandma played ____.

My grandpa played ____.

昔の遊び：tag / hide-and-seek / spinning tops / kendama / jump rope / marbles

今の遊び：video games / soccer / dodgeball

反応：Me, too! I want to try it!

評価のポイント

- My grandma played _____. の文を書き、クラスに聞こえる声で読めたか。
- 友だちの発表に Me, too! / I want to try it! で反応できたか。
- 昔と今の遊びの共通点や違いに気づけたか。

つまづきへの手だて

- 家庭の事情で祖父母に聞けない子には、事前に地域の方や学校の職員に聞く機会をつくるか、先生の話をもとに書いてよいとする。
- 英語が書けない子には、絵カードの語を先生が小さく書き、なぞらせる。
- 前で話すのが苦手な子は、先生と一緒に読むか、カードを掲げるだけでもよいとする。

発展

- Find Someone Who（基本セット p.7）の has learned a game from an older person をクラスで聞き合う。
- 聞いてきた遊びを、休み時間に実際にやってみる。
- 基本セット p.8 のなぞり書きで grandma / grandpa / thank you を書く。

使う教材

- 基本セット p.7（Find Someone Who）
- 基本セット p.8（なぞり書き・ぬりえ）
- このサイトの英語ページ本文（第4段落）の音声